

南アルプス市立豊小学校 学校だより



梨の花

令和4年度 第16号 3月24日発行

- ◆学校教育目標 『たくましく 心豊かな 子どもの育成』
- ◆具体目標 「かしこく」 自ら考え、学び続ける子ども
「なかよく」 相手を敬い、思いやる子ども
「たくましく」 自分の体を守り、鍛える子ども

豊小学校HP(ホームページ)アドレス <http://www.yutaka.m-alps.ed.jp/>



令和4年度 修了式

令和4年度のまとめとして、3月24日(金)、体育館で修了式を行いました。

はじめに1年生から5年生に、各学年の課程を修了した証として、修了証書を渡しました。代表を任された5人の子どもたちは、若干緊張した面持ちでしたが、小笠原流礼法に則り、上手に証書を受け取りました。

1年をしめくくる挨拶については、過日まで行われていたWBC(WORLD BASEBALL CLASSIC)における日本人選手の活躍にふれ、しっかりと目標をもつことの大切さと、みんなで励まし合い、力を合わせることの素晴らしさについて話をしました。

児童代表の発表については、1年 光宗優花さん、3年 田中風雅さん、5年中込結奏さんの3人が、「1年間の思い出と来年度頑張りたいこと」と題し、それぞれの思い出と新年度に向けての決意を語りました。

令和4年度も、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、コロナ前と同じように活動することはできませんでした。しかしながら、取り組み方を工夫することで、コロナ前に負けない成果を収めることができたと感じています。

修了証書と一緒に、通知表を渡しました。一人一人の子どもたちが、自分の成長を通して、自分の頑張りを再認識してほしいと思います。来年もまた、目標に向かい、みんなで励まし合い、学び合う1年になることを願っています。



1年間の思い出と来年度がんばりたいこと(児童の発表)

縄跳びの取組 (短縄・長縄)

本年度は、1年間を通して、全校で縄跳びに取り組みました。

縄跳びは、全身運動であり、跳ねることによって下半身、縄を回すことで上半身の筋肉を鍛えることができます。また、持久力や心肺機能はもちろん、跳び方を工夫すれば俊敏性や巧緻性なども鍛えることができます。

短縄跳び（短い縄を使つての縄跳び）であれば、広いスペースを必要とせず、自分自身のペースで取り組むことができるというメリットもあります。長縄跳び（長い縄を使つての縄跳び）は、集団での取組を通して、協力することや助け合うことの大切さなどを学ぶ場となります。

短縄跳びにおいては、体育の時間や休み時間を使い、山梨県教育委員会が主催する「目指せ！ やまなしチャンピオン！」、「短なわ レディ Go」の種目にエントリーしました。先日、1年間の取組の結果が賞状と一緒に届きました。全校で体を鍛えていくことが目標であり、こつこつと体力づくりに取り組むことができたことが1番の成果ですが、賞状をいただいたことは、子どもたちにとって、1年間のまとめとして、うれしい「ご褒美」となりました。

長縄跳びについては、校内で「長縄大会」を実施し、学級対抗で跳べた数を競い合いました。いわゆる「8の字跳び」で、連続して早く入ることが求められますが、練習を重ねることで、低学年も上手に跳べるようになってきました。

結果は、次のとおりです。

年間総合ランキング「短なわ レディ Go」の部			
第9位	2年 花輪佳蓮	第6位	4年 光宗鈴世
第10位	2年 横内悠成	第8位	4年 古田利空



校内長縄大会（回／3分間）		
第1位	3年1組A	228回
第2位	3年1組B	226回
第3位	6年1組D	225回
第4位	3年2組B	222回
第5位	4年1組B	208回



大会を運営する体育委員会



チャレンジ中の6年生

【お知らせ】 文部科学省、県教育委員会から示されている「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」が新しくなりました。4月より感染症対策を変更いたします。変更点につきましては、今後「安心安全メール」や4月初めのお便りでお知らせします。